

## ○ 市立保育園配置計画における今後の方向性

本市における保育の現状と課題(地域による保育ニーズの違い、低年齢児からの入園児童数の増加、施設の老朽化の進行、保育士不足、市立における正職率の低下(約3割)、持続可能な行財政運営の必要性等)を踏まえ、これまで以上に民間の力を活用した上で、市内全ての市立保育園等86施設(計画策定時87施設)を対象に適正配置を進めるため、平成30年10月に「新潟市立保育園配置計画」を策定しました。

計画では、各施設について、建築年数(老朽化の状況)、利用の状況、新設の民間施設を含む近隣保育所などでの受け入れの可能性、市立の必要性(基幹保育園、セーフティネット園)等、周辺地域の状況や住民意向を考慮の上、対応時期・方針について、個別に検討・調整し、在園児への影響を最大限配慮するとともに、地域における合意形成をしながら進め、施設について概ね20年で半数程度、正職率について同規模政令市と同等の50~60%を目指すこととしています。

## 【各施設の耐用年数一覧】

耐用年数 超過年度	R2-6 (2020-2024)	R7-11 (2025-2029)	R12-16 (2030-2034)	R17- (2035-)	民間保育 施設数 (R2.4.1予定)
北 (12)	大夫浜・越岡	早通北・太田・若葉・ちとせ 三ツ森	すみれ・二葉・かやま	早通南・木崎	【保】6 【こ】7
東 (10)	山ノ下・大山・石山・第二中 野山・東中野山・中野山		山木戸・中山	大形・桃山	【保】10 【こ】22(2) 【小】4(1)
中央 (12)	しなの・山湯	入舟	白山・長嶺・敷島・流作場	千代・万代(※2)・鳥屋野・ロー ター・沼垂	【保】12 【こ】30 【小】6(2)
江南 (13)	両川・曾野木・大江山・こと ぶき・第二曾野木・亀田第 二・亀田第二	亀田第三	横越双葉・亀田第五	横越小杉・横越中央・亀田第四	【保】11 【こ】6 【小】1
秋葉 (5)	新金沢		小須戸・新津東	金津・矢代田	【保】6 【こ】9(2) 【小】1
南 (12)	新飯田	白井・古川・にししろね・あじほ	根岸・月潟・諏訪木・大通	白根・小林・大鷲	【保】4(1) 【こ】1
西 (11)	上五十嵐・坂井・坂井輪・小 針 内野	大野・山田・寺地		木場・黒崎なかよし・興野	【保】14(1) 【こ】23(1) 【小】6(3)
西蒲 (11)			岩室・巻・漆山西・松野尾・七 浦	かきの実・和納・巻つくし・漆山 東・中之口・すわ	【保】6 【こ】4
施設数 (86)	24	14	22	26	【保】保育園 【こ】こども園 【小】小規模 【こ】こども園 【小】小規模

※1 耐用年数:木造30年、鉄骨50年で整理。下線は、令和2年4月時点で耐用年数を超過している施設。(ただし、全ての施設について耐震改修済)

※2 令和2年2月に宮浦乳児と統合

## 【各年度対応施設数】

年度	R2-6 (2020-2024)	R7-11 (2025-2029)	R12-16 (2030-2034)	R17-R21 (2035-2039)
施設 数	総数 86→75	75→65	65→55	55→45
目標	△11程度	△10 (各年度△2程度)	△10 (各年度△2程度)	△10 (各年度△2程度)
決定済	曾野木・第二曾野木			

## 【早期に対応が必要な施設】

1 既に耐用年数を超過している施設	大夫浜・越岡・山ノ下・大山・石山・第二中野山・東中野山・中野山・しなの・山湯・両川・大江山・ことぶき・亀田第一・新金沢・新飯田・上五十嵐・坂井・坂井輪・小針
2 新すこやか未来アクションプラン (H27~H31) において既に実行予定としている施設	白山・敷島・石山・第二中野山・内野・上五十嵐
3 地域別実行計画において既に検討を開始している施設	かやま・すみれ・太田・若葉・坂井
4 利用児童数が20人未満の施設	新飯田
5 近隣に民間保育施設ができるため、受け入れの可能性のある施設	山ノ下・古川

※下線は、「1 既に耐用年数を超過している施設」にも該当する施設